

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属: 国際教養学部

学年: 3年

留学先大学: ウィスコンシン大学ミルウォーキー校

現在の学期: Fall semester

時間割:

曜日	履修科目名・時間等
月	9:30-10:20 Principles of Marketing (Lecture) 11:00-12:15 Digital Arts: Culture, Theory, Practice (Lecture, Online) 14:30-15:20 Introduction to Business (Lecture)
火	10:00-11:15 Grammar and Editing in English for Multilingual Students 13:00-14:15 Basic Skills in Academic Listening & Speaking
水	9:30-10:20 Principles of Marketing (Lecture) 14:30-15:20 Introduction to Business (Lecture)
木	10:00-11:15 Grammar and Editing in English for Multilingual Students 13:00-14:15 Basic Skills in Academic Listening & Speaking 14:30-17:10 Digital Arts: Culture, Theory, Practice (Lab, face-to-face)
金	9:30-10:20 Principles of Marketing (Discussion) 10:30-11:20 Introduction to Business (Discussion)
土・日	なし

履修科目や近況について

【学習面】

イノベーションやビジネスの中のデザイン(SNSのマーケティングやロゴデザイン)に興味があり、それに関連したマーケティング、ビジネス、デジタルアートの授業を受講している。その他EAPと呼ばれる英語の授業も受講している。

○授業内容

・**Speaking and Listening**

二週間に一回程度のスピーチと、リスニングの練習を組み合わせた授業。千葉大のPresentationの授業に似ている。

・**Grammar and Writing**

毎回教科書10ページ程度の課題が出される。週一回の頻度で授業内でのwriting assignmentがあり、添削されたものを書き直す課題もある。

・**Digital Art**

レクチャーとラボの授業に分かれており、理論と実技のようなイメージ。レクチャーは毎週3-5問くらいの小テストがあるのと、2週間に1回ほどdiscussion postという、ラボで作成した作品の説明や、リファレンスとして取り上げた作品との関連性を書く課題がある。ラボは週一回2時間半くらいの時間をとって、先生の指示に従ってphotoshop(11月からはillustrator)の使い方を学ぶ。

毎回のタスクが指定されているので、その操作(Adobeソフトのツール)に従って自分の作品を完成させていく。学校のMacにAdobeが入っているものがあるので、それを使うか、サブスクで購入するしかない。私は月額で購入した(2000円ほど)。あとパソコンに接続できるペンタブ(液タブでも)を持っていれば更に効率的に作業できると思う。



写真: 授業で製作した作品

・Business

毎週1チャプターずつ教科書を読む(30ページくらい)のと、たまに授業フィードバックの課題が出る。教科書は\$80ほど(高いしpdfに出来ないので不便)。エッセイはセメスター中2つ課され、いずれも1000-1500 wordsくらいの分量。プラス3つのテストと出席点で成績が決まる。

エッセイ1つ目は、ビジネス専攻の学生が主催している団体のミーティングに参加し、その感想を書くというもので、二つ目はミルウォーキー川の清掃活動をしている団体のボランティアに参加し、その感想を書くというものだった。ビジネスシミュレーションの課題もあり、アイスクリーム屋などを経営するゲームを全て終了させると、ポイントが貰えるという仕組みになっている(ゲームの購入に15ドルかかった)。

本当は主に1年生が受ける授業なので、UWMのアドバイザーと相談をするという課題があったが、私はその必要が無いので、特別に上記のミーティングに2つ参加すれば代替課題としてくれることになった。



・Marketing

これも毎回1チャプターずつ教科書を読み、Connectというオンラインシステムで問題に正解すると、毎週の課題が完了となる(これも大体30ページくらい)。教科書はこれも\$80程で、オンラインシステムを使うには購入しないといけないので節約することはできない。

これまでにビジネスとマーケティングの授業のテストを受けたが、授業スライドがCanvas(Moodleのようなシステム)に掲載されているので、そこまで苦労することはなかった。毎回の授業に出席し、課された課題をこなしていけば単位は取れるのだと感じる。



写真: ビジネスの校舎(上)と、Student Union(下)

【渡航～1週間でやったこと】

ソフトバンクのアメリカ放題を契約していたので、渡米時に自動的にT-Mobileに繋がり、時間もアメリカ時刻になった。ソフトバンクの一番安いプランでアメリカ国内にいる時は容量無制限で使うことが出来ている。シカゴオヘア空港からミルウォーキー市内までの移動手段はCoach USA Lineのバスチケットを大学から無料で提供して頂いた。そこから滞在先まではLyft(Uberのようなタクシー)を利用した。その他には、アメリカの電話番号とアメリカのApple IDの取得、Amazon primeの登録と大学提供のバスチケットの入手、大学の銀行口座の開設、学生証の受け取り等を行った。生活用品はBayshoreのTargetで一通り揃えた。

アメリカ放題を契約したものの、アメリカの電話番号が無いとAmazonなどの多くのサービスを使うことが出来ない上に、学生もSnapchatを使用しているので、渡米したらすぐに電話番号を取得するとよい。大学のStudent UnionにMint mobileという会社のSIMが置いてあったので、それを使ってオンラインで契約した。日本のSIMをeSIMIにしておくを入れ替え無しで使えるので便利。アメリカ放題(モバイルデータ用)を主回線、Mint mobile(電話番号用)を副回線として使用している。

日本のクレジットカードはVISAとMasterの2種類を用意していたが、どちらも海外手数料がかかるので、大学の銀行口座とデビットカードを申し込むことにした。手続き自体はすぐに終わるが、マイナンバー(TIN-納税者識別番号)が必要だったことに後から気づき、マイナンバーカードを持ってきていなかったため、親に番号を送ってもらう必要があった。可能ならマイナンバーカードもアメリカに持参すると便利かもしれない。国際送金にはWiseを使用している。

【生活面】

○移動手段

一人での移動の際は基本的にバスを使うことになる。UWMの学生は無料のバスチケットのQRコードが入手できるので、Umoというアプリを使ってミルウォーキーのローカルバスに乗ることが出来る。移動範囲は思ったよりも広く、市街地だけでなく、北のBayshore Mallやミルウォーキーの空港まで走っているバスがある。寮から学校までの移動は寮を経由するシャトルバスに乗るか、Kenilworthであればローカルバスに乗っていくこともできる。その他、友人が車を持っている確率が高いので、一緒に乗せてもらってショッピングをすることも時々ある。

○気温

渡航時(8月下旬)の気温は想定外で、30℃以上の猛暑日が数日だけ続いた。私は長袖しか持ってこなかったのがGoodwillというセカンドハンドショップに行き、3ドルほどのTシャツを2着購入した。しかし9月下旬頃になると急激に寒くなり、10月中旬では最低気温が2~4℃の日もあるなど、温度差で体調を崩しそうになった。9月の間に暖かい服を準備しておく必要があると感じた。

○寮生活

留学前の話にはなるが、寮を決めるまでにかなりの時間を要した。8月中旬に大学側から連絡が来て、最終的にKenilworthに入寮することができた。住居の情報が大学から届いたら(大体4~5月頃に連絡が来る)、締め切りを待たずしてすぐに検討を始め、申し込みをした方がよい。

留学生が居住できる寮は5種類あり、それぞれに住んでいる友人から話を聞いたので 簡単に紹介する。

・Sandburg (East以外)

大学の敷地内に建っている唯一の寮。これ以外の寮は約5~10分間隔で寮を周回するシャトルバスに乗って登校するが、Sandburgはその必要が無い。1人~3人部屋で、キッチンが無いのでダイニングプランの加入が強制される。冷蔵庫は無いがフロアに共用の電子レンジがある。一つの棟に900人程度居住しているらしい。時々寮主催のイベントがある。



写真: Sandburgの売店とエントランス

・Sandburg (East)

Sandburgは4つの棟に分かれており、Eastにのみキッチンが付いている。4部屋を6人(2,1,1,2人ずつ)で居住する形になる。

・Kenilworth

最も市街地に近い。大学まではバスを使わないと遠いが、全体的な交通アクセスは良く、最も人気のある寮。近くにWhole Foods(後述)というスーパーがあるが高級なので出費が激しくなりがち。

・Cambridge Commons

Kenilworthから10分弱歩いた場所にある。川沿いにあるので自然が豊かで居心地が良い。キッチン付きのアップグレードとキッチンの無い部屋(フロアに共用キッチン有り)があり、市街地に直通しているバスが無いこと以外は非常に快適とのことだった。アップグレードにはコンロ、オーブン、電子レンジが付いている。

・Riverview

Cambridge Commonsと川を挟んで向かい側にある寮。キッチンはフロアに共用のものがあり、4人が2つの部屋に分かれてバスルームを共用する形。友人の部屋にはバスタブは無く正方形のシャワーのスペースのみが設けられていた。スーパーが目の前にあり便利だが、部屋が狭い。清潔感があり全体的には住みやすい寮とのことだった。

・自分の部屋について

現在住んでいるKenilworthの部屋は一人部屋で、スイートメイトと2人でキッチン・バスルームを共有している。バスタブと洗濯機が付いているアップグレードの部屋を取ることができた。スタンダードの部屋はバスタブ無し(シャワーのみ)かつ洗濯機無し(2階にLaundryがある)という話を聞いた。



写真: Kenilworthの個室とリビング

Sandburgはダイニングプランに入ることができ、食堂で食事をする事ができるが、Kenilworthにはキッチンが付いているので自炊をしている。個人的には、ピザ・揚げ物中心の食生活が合わなかったのも、渡米1週間で少し体調を崩してしまった。結果としては自炊で自身の食生活をコントロール出来たことは良かったかもしれない。



写真: 自炊したメニュー(ガパオライス、バナナブレッド、パスタ、唐揚げ)

○近くのスーパーマーケットの種類

・Whole Foods Market (Kenilworthの近く)

Amazonと提携しているオーガニック系スーパー。価格帯は比較的高いが、品質、客層、スタッフの質はかなり良い。日本のスーパーに雰囲気似ているので使いやすい。安いブランドの食品が全く売っていないので、買い方に工夫が必要である。他のスーパーと比較して値段が変わらない商品、またはセール品を狙って行くのがよい。Amazon Primeに加入してQRコードを見せると割引になる商品があるので、活用していくとお得に買える。

日本食が結構売られている。私が見かけたのは、醤油、みりん、米酢、乾燥わかめ、豆腐、日本米、ポン酢、ごま油、キューピーマヨネーズ、味噌など。他のスーパーと比べるとやはり少し高い。

・Pick'n Save (RiverviewとCambridge commonsの近く)

寮に住んでいる学生がかなり日常的に使用しているスーパー。
寮を経由する大学のシャトルバスに乗って、Riverviewで降車すると目の前にある。Walmart等と比べると近いので、KenilworthやCambridge commons, Riverviewに住んでいる人からすると比較的行きやすいスーパーだと思う。

・Metro Market (市街地と学校の北側に2店舗)

中型、中価格帯の庶民的なスーパー。Pick'n Saveとグループのような関係。価格帯はそこまで違いがないが、品揃えがPick'n Saveより少し「良いもの」を売っているイメージがある。私は週末に2週間に一回くらい市街地のMetro marketに行くことが多い。

・Walmart (学校の北側)

日本にもあるスーパーだが、アメリカのウォルマートは大型の低価格帯スーパーという立ち位置。一度利用してみたが、コーラのボトルが割れて床に散乱している、何か盗まれそうな雰囲気笑顔がない、レジの待ち時間が長い(曜日によるかもしれない)など、物価が比較的安い分安全性に欠ける部分が見られる。生活用品を買いたいのであれば少し遠くなるがBayshoreという場所にあるTargetを使うのもよいかもしれない。

もしSandburgに住むのであればWalmart等に行くのも悪くないかもしれない。ただこの周辺は他の場所に比べると少し治安が悪い気がするので、細心の注意を払って行く、友達と一緒に行動する、日没までに必ず帰るということに気を付けた方が良い。

個人的には、買い出しは平日はWhole Foods MarketやPick'n Saveで食品を買い足しつつ、休日には市街地のMetro Marketで生活必需品などを揃えようかと考えている。Walmartなどの低価格帯のスーパーもあるが、客層や商品(特に生もの)の品質を考えて、安全性を優先しようかと思っている。

○日本の食材

渡米前は日本の食材は全く買えないと思っていたが、調味料などかなり日本食は充実している印象を受けた。それでも手に入らない食材はアジア系スーパーや通販で買っている。

・Mo's food market

アジア食材を多く取り扱っている食料品店。市街地の西側にあり、Kenilworthからバスに20分程乗り、5分ほど歩くと到着する。日本の価格と比べるとかなり高く感じるが、キッコーマンのしぼりたて生醤油やみりん、料理酒など、日本の調味料も多く取り扱っている。薄切りの豚バラ肉や日本の野菜もあるので、そのような食材が欲しい場合は足を運ぶと一通り揃う。

・Weee!

日本食を取り扱っているECサイト。家まで配送してくれるのが一番の強みで、コシヒカリを寮まで届けてもらっている。納豆やうどん、めんつゆ等、本当に様々なものが頼める。

【その他】

治安はそこまで悪くはないが日本と比較すると様々なことがあった。
渡航から2,3週間で経験したのは、

・お店を出たら女性に「金をくれ、1ドル、2ドル」と金銭を要求された。その時は危険だと感じ無視してその場を離れた。

・学校内を歩いている女性に「Chicken tenderをおごってくれ」と言われた。「よく分からない」と言ったら去って行っただが、他の学生の座っている席に座り、同じことを繰り返していた。

・ミルウォーキーのナイトマーケットに友人と参加したが、大麻の香りが漂っていた。財布などは服の中に隠し、絶対に盗まれないように細心の注意を払った。

想像よりも治安は悪くないものの、日本と同水準を期待せず、常に危機管理意識を高めて生活していたほうが良いように思われる。